

2009年12月15日

報道各位

三菱地所株式会社

**大名古屋ビル及びロイヤルパークイン名古屋の建替計画
環境影響評価手続き開始のお知らせ**

三菱地所株式会社は、名古屋市中村区名駅三丁目に所有する「大名古屋ビル」及び「ロイヤルパークイン名古屋」の一体的な建替計画に着手するにあたり、今般「名古屋市環境影響評価条例」に基づく環境影響評価の手続き（※）を開始しますのでお知らせします。

大名古屋ビルは、1962年の竣工以来既に47年を経過し、基本設備の老朽化が進行しており、また近年の高度化するオフィス機能ニーズへの対応や、環境面、防災面の更なる機能更新が必要なことから、建替計画に着手することとしました。建替に当たっては、名古屋市が策定した「名古屋市都心部将来構想」に即したまちづくりの実現により、名古屋市都心部、ひいては中部圏の発展に寄与することを目指してまいります。

建替計画の具体的な内容につきましては、今後、行政のご指導、関係各位のご協力を得ながら検討を取り進めてまいります。スケジュールとしましては、2012年度の着工、2015年度の竣工を目標としております。

尚、「ロイヤルパークイン名古屋」は、本建替計画に伴い、2011年2月を目処に営業を終了する予定です。

※ 名古屋市環境影響評価条例に則って、大規模建築物（延床面積50,000㎡かつ高さ100m）の建設を行う事業者が、予めその事業が環境にどのような影響を及ぼすかについて調査、予測、評価を行い、その結果を公表して、住民や行政の意見を聴きながら、環境の保全の観点からより適正な配慮を行うことにより、環境と開発との調和を図る制度。

以上